

嘉楽教育のしおり

令和8年度 嘉楽中学校の教育

《学校教育目標》

将来の夢を実現するために、仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成

《目指す15歳の姿》

- 挑戦を支える学力があること
- 挑戦を支える仲間がいること
- 挑戦を支える自己有用感もっていること

★ 学校体制(全教職員)で計画的・具体的・組織的・体系的に取り組みます。

1. 取り組み

- ・授業研究:「全ての生徒が学びに夢中になれる授業づくりの追究」「TTの効果的な活用の追究」
- ・探究学習(KIP:KARAKU INQUIRY PROJECT)研究:「仮説づくりを大切に探究学習」
- ・生徒指導研究:「生徒の背景を踏まえ、すべての生徒に居場所と出番のある学級・学年・学校づくり」

2. 各教科で「学習確認プログラム」の予習・復習シートを活用する

3. 各教科で「家庭学習」の推進を積極的に図る

4. 英語学習への意欲や関心をさらに高めるため、「英語検定」の受検

※年2回(5月22日(金)、10月頃)を実施する。

5. 「こじか」の実践として各授業でのパフォーマンス課題に取り組む

★定期的に成果を確認して振り返り、反省を次に生かすよう取り組みます。

(PDCAサイクル)

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校評価アンケート(保護者用) | <input type="checkbox"/> 生徒アンケート |
| <input type="checkbox"/> クラスマネジメントシート(生徒用) | <input type="checkbox"/> 学習確認プログラム |
| <input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査 | <input type="checkbox"/> 教職員アンケート |

《具体的には》

- 一人一人の学力状況を正確に把握し、課題を明確にすると共に、基礎基本の定着と生徒理解に基づいたきめ細かい指導ができる『少人数授業』や『TT(チームティーチング)』の授業形態を取り入れ、「つながりを生かした学び合い活動」を活用した授業を積極的に進めていきます。
- 『人権尊重の学校づくり』を目指します。家庭や地域と連携して、一人一人の子どもが、お互いを尊重し、認め合い、支え合い、共に生きることの大切さを学ぶことを通じて、人権という普遍的文化の担い手の育成を推進します。
- 集団の中で支え合い・磨き合い・高め合う生徒を育てるために、『学級活動』『生徒会活動』『部活動』を通して、一人一人の生徒が、与えられた役割を責任持ってしっかり果たすこと、仲間と共に汗を流し、話し合い、協力し合うことで充実感・達成感を持てるように進めていきます。
- 小中一貫教育 9年間のスパンで、保護者や地域と共に児童生徒を育みます。義務教育卒業時に付けたい『目標を持って意欲的に学び続ける力、自分も他人も大切にできる行動をとれる力、仲間と支え合い繋がりが合える力』の育成に向けて、小中間で連続性のある教育を進めていきます。

令和8年度の教育課程について

教 務 部

(1) 教育課程編成上の基本的な考え方

① 通年制(3学期)をとり、評価活動及び評価の通知時期を次のようにする。

学 期	1学期							2学期					3学期							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
通 年 制	入学式・始業式	家庭訪問	教育相談	チャレンジ体験	修学旅行	定期テスト①	三者懇談	夏季休業	定期テスト②	教育相談	学校祭	進路教育相談	定期テスト③	三者懇談	冬季休業	定期テスト④(3年)	私学入試・公立前期選抜	定期テスト④(1・2年)	卒業式・修了式	公立後期選抜

ア 授業時間は1コマ50分を原則とする。

イ 定期テストを年間4回設ける。

ウ 特別な事情(出席停止等)で、テストを当日に受けることができなかつた場合、別日に受けた結果は、当日の結果に準じて扱うものとする。

エ テスト結果の扱いについては、個々の状況を考慮し、学年や必要に応じ運営委員会等で協議する。

オ 1学期と2学期には、教育相談週間を設ける。

→ これまでの学習面や生活面の振り返りの場とし、今後の動機付けとする。

カ 評価を示す時期は次の3回とし、その内容は観点別学習状況及び5段階評定とする。

→ 夏季休業前(三者懇談有)、冬季休業前(三者懇談有)、学年末(三者懇談無)

→ 全学年「4-7月」「4-12月」に分けて評価・評定をつけ、最終「学年」として通年の評価・評定をつける。さらに評価・評定の確かな根拠を示し、学習への意欲を喚起するために副票(懇談会資料*3学期はなし)を提示する。

→ 校務支援システムの効果的かつ効率的活用に努める。

② 授業日数は原則202日とする。

(2) 年間週授業時数について

① 普通学級

区分	必修教科									道徳	特活	総合学習	合計時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語				
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

② 育成学級

区分	必修教科									道徳	特活	作業生 単	総合 学習	合計 時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語					
1年	105	70	105	35	70	35	90	35	35	35	35	315	50	1015
2年 3年	105	70	105	35	70	35	90	35	35	35	35	295	70	1015

【留意事項】

- ① 3学期制を基本として定期テスト及び行事を組みつつ、時間割は年間を前期・後期の2つを基本として構成する。
- ② 「総合的な学習の時間」は、1年50時間、2・3年70時間実施する。
- ③ 「道徳の時間」については、年間35時間＝週1時間の道徳の時間を確保し、計画的な指導を行えるようにする。係より全体計画及び年間指導計画が提案される。
- ④ 特別活動については年間35時間＝週1時間の学級の時間を確保し、計画的な指導を行えるようにする。
- ⑤ また、生徒会活動の時間を確保するために、専門委員会や生徒集会を計画的・継続的に行えるよう時間確保に努める。生徒会の取組を支える日常的な活動である生徒会本部長会は、原則として毎週の曜日を固定し、昼食時から昼休みにかけての時間を確保するという定例化した活動を行うものとする。

【週時間割】

- 授業時間は50分とする。
- 木曜は原則5限までの授業とするが、授業時数回復のため6限になる日もある。
- KIPとは、総合的な学習の時間を表す。

	月	火	水	木	金
1	授	授	授	授	授
2	授	授	授	授	授
3	授	授	授	授	授
4	授	授	授	授	授
5	道	授	授	学	KIP
6	授	授	授	※	KIP

【時程】

	6限授業日	5限授業日	午前中授業
朝読書	8:25 ~		8:35
朝学活	8:35 ~		8:40
1時限	8:40 ~		9:30
2時限	9:40 ~		10:30
3時限	10:40 ~		11:30
4時限	11:40 ~		12:30
昼食	12:30 ~		12:50
昼休憩	12:50~13:10		
5時限	13:15~14:05		
6時限	14:15~15:05		
終学活	15:10~15:20	14:10~14:20	12:55~13:05
清掃	15:20~15:35	14:20~14:35	13:05~13:15
下校	15:35	14:35	13:15

【部活動】

- 活動終了時間 16:45
- 完全下校時間 17:00

《学習について》

- 嘉楽中学校では、学校教育目標の「将来の夢を実現するために、自らを磨き続けられる人間の育成」を達成するために、以下に重点を置いて取り組んでいます。ご家庭でも、お子達への支援をお願いします。

(1)少人数制、学び合い活動

- 少人数授業や複数教師が1クラスに入るTT授業を通じて、1人1人を徹底的に大切に、基礎基本の定着を図ります。また、各教科の教員は全学年の授業に関わり、担当学年だけでなく、全学年の生徒を把握し、個々の生徒の実態に即した授業の工夫や授業の実践に取り組みます。
- 「学び合い」とは、教え合いとは異なり、「グループ活動を通して仲間の意見から自分の意見を磨く」「仲間と言葉を交わすことで、仲間の違いや立場を共感的に理解する」を通して、生徒1人1人の学力保障を目指すものです。

(2)家庭学習(宿題)

- 各教科からの宿題とは別に、毎日自主学習ノートに取り組むことを主体とします。GIGA 端末を使用する課題が出される場合もあります。
- 各自“自主学習ノート”を用意し、自分で決めた内容を自習します。手助けとして、学年や教科から「学習のおすすめ内容」を提案したり、各教科でドリルプリントを用意したりします。できる限り毎日進められるように指導し、回収、点検します。
- 休日・祝日や長期休業中については、学年の状況に応じて行います。
- 家庭学習に前向きに取り組めるようご家庭のご協力をお願いします。

(3)朝読書

- 毎日、朝学活の時間に「朝読書」を設定します。学年が上がるごとに、より質の高い読書を目指し、学校図書館と連携します。

(4)学習確認プログラム

- ・1年生=4月、10月、1月 ・2年生=7月、10月、1月 ・3年生=5月、10月
- それぞれの前後に予習シートと復習シートを積極的に活用します。

(5)校内授業研究

- 教職員の授業力向上を目的として校内授業研究を実施します。

《生徒指導について》

○いじめ・不登校対策

- 本校では、いじめの未然防止に向け、嘉楽中学校「学校いじめ防止基本方針」を策定しています。詳しくは、嘉楽中学校ホームページに掲載されますのでご覧ください。 また、校内においても、「いじめ対策委員会」「不登校対策委員会」を設置し、一人一人を大切にされた対応を心掛けています。何かございましたら、担任までご相談ください。

京都市立嘉楽中学校

〒602-8473 京都市上京区般舟院前町148

TEL 075-431-0312 FAX 075-431-0313

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/karaku-c/>

e-mail karaku-c@edu.city.kyoto.jp